

平成 21 年度予算 保健福祉施策の充実

“すべてのいのちを大切にする”という強い信念のもと、子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰もが社会の一員として住み慣れた家庭や地域で健やかに安心して暮らすことができる社会を実現するため、保健福祉分野のマスタープラン「健康福祉北九州総合計画」の見直しを行った。

当該計画においては、「自助」「共助」「公助」を柱とする3つの基本目標「健康で活動的なまち」「地域で支え合うまち」「安心な暮らしのあるまち」を掲げており、平成21年度は、これまで以上に効率的・効果的な保健福祉サービスを提供するため、事業実施にあたり、この「自助」「共助」「公助」の適正な分担や重層的な組合せにより保健福祉行政を推進していく。

さらに、健康づくりについては「健康福祉北九州総合計画・健康づくり部門・改訂版」、高齢社会対策については「第二次北九州市高齢者支援計画」、そして、障害者施策については「北九州市障害者支援計画実施計画・拡充版」に基づき、取組みの充実・強化を図る。

3つの基本目標と主な事業

(1) 健康で活動的なまち【自助】

ライフステージに応じた地域住民主体の健康づくりの推進や社会参加・生きがいづくりを支援し、誰もが自らの“いのち”の大切さを理解しながら、生涯を通じて自らの持てる力を十分に発揮し、元気でいきいきと暮らしていくことができる“健康で活動的なまち”を目指す。

〔主な事業〕

新 健康マイレージ事業（地域支援事業） 31,000 千円

日ごろの健康づくりへの取組みをポイント化し、そのポイントを還元することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取組みを促す。

【担当課：保健福祉局健康推進課 582-2018】

○ 健康診査の充実・受診促進 396,691 千円

受診率向上の方策の一環として、胃がん検診に内視鏡検査を導入するとともに、H20年度に引き続き、各種がん検診を休日に受診できる「がん検診フェア」の開催や普及啓発活動を展開する。

【担当課：保健福祉局健康推進課 582-2018】

新 歯と口の健康づくりモデル事業～親子むし歯ゼロ大作戦～ 6,000 千円

子どものむし歯は、養育者の口腔内状況を改善することで、予防効果が期待できる。そこで、1歳6か月児の歯科健診と一緒に母親等への歯科検診を行い、母親等の口腔内状態の改善や、むし歯予防に親子で取り組む意欲を高めることで、3歳児のむし歯ゼロを目指す。

【担当課：保健福祉局健康推進課 582-2018】

新 きたきゅうしゅう食育ネット 3,000千円

食育を推進していくために食育関係団体とのネットワークづくりや食育に関する普及・啓発を行う。また、スーパーマーケット等の事業者が取り組む消費者への食育に関する普及・啓発を支援するとともに、食品関連事業者に対して、食育に関する意識等の実態調査を行う。

【担当課：保健福祉局健康推進課 582-2018】

新 障害者スポーツセンター再整備検討事業 2,000千円

障害者スポーツセンターの再整備について、専門家等による調査・研究をもとに十分な検討を行う。

【担当課：保健福祉局障害福祉課 582-2424】

年長者研修大学校及び穴生ドーム運営委託事業 172,781千円

「年長者研修大学校」を高齢者の生きがい・仲間づくりの場のみならず、地域活動や社会貢献活動を担う人材育成の場としても充実を図るため、生涯現役夢追塾と一体運営し、生涯現役型社会の環境づくりを推進する。また、高齢者をはじめとした市民の健康づくりなどを行う北九州穴生ドームを運営する。

【担当課：保健福祉局高齢者支援課 582-2407】

新 犬ねこの譲渡の促進及び動物愛護適正飼育推進事業 3,500千円

動物と、動物を飼う人飼わない人がともに心地よく暮らせるまちづくりを目指した「動物の愛護及び管理に関する条例」の制定を機に、動物を愛護する意識の高揚を図るとともに、犬ねこの致死処分を減らすための譲渡の促進事業、動物の適正飼育啓発事業等を行う。

【担当課：保健福祉局保健衛生課 582-2435】

(2) 地域で支え合うまち【共助】

これまで培ってきた“三層構造による地域福祉のネットワーク”を充実・強化し、子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず、誰もが地域社会の一員としてお互いを尊重しあい、住み慣れた家庭や地域で“いのち”のつながりや支え合いを実感して暮らすことができる“地域で支え合うまち”を目指す。さらに、地域関係者・民間事業者・関係団体などとの協働のもと、安心してサービスが利用できる仕組づくりにも取り組む。

〔主な事業〕

拡 認知症啓発・対策推進事業（地域支援事業） 26,410千円

「認知症になっても安心してその人らしく暮らせるまちづくり」実現のため、予防からケア、家族支援、地域づくりまで総合的かつ効果的な認知症対策を充実する。

【担当課：保健福祉局高齢者支援課 582-2407】

権利擁護・市民後見促進事業 15,154千円

日常生活の見守りなどを中心とした成年後見業務を担う「市民後見人」を養成するとともに、この受け皿機能を支援することによって、成年後見制度の利用促進を図る。

【担当課：保健福祉局高齢者支援課 582-2407】

高齢者の虐待防止事業（地域支援事業） 38,713 千円

高齢者に対する虐待の早期発見・通報から迅速かつ適切な対応、継続的な見守りにいたる「高齢者虐待防止システム」を専門機関との連携により推進する。

【担当課：保健福祉局高齢者支援課 582-2407】

いのちをつなぐネットワーク事業 47,500 千円

子どもから高齢者まで障害のある人もない人も“すべての市民のいのちを大切に”という強い信念のもと、地域住民や団体・企業・行政の「協働」により、地域福祉のネットワークを強めていく取組みを行う。

【担当課：保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課 582-2060】

新 認知症対策連携強化事業 5,887 千円

「認知症疾患医療センター」を有効に活用し、地域における認知症ケア体制および医療との連携を強化する。

【担当課：保健福祉局高齢者支援課 582-2407】

拡 北九州市障害者就労支援センター事業 21,650 千円

障害のある人の一般企業への就職を支援する「障害者就労支援センター」について、職場適応援助担当者（ジョブコーチ）を新たに配置し、機能を強化することにより、雇用の促進と職場定着の一層の推進を図る。

【担当課：保健福祉局障害福祉課 582-2424】

地域生活移行促進事業 28,272 千円

障害のある人が、施設や病院、家庭から自立して地域のグループホーム・ケアホームでの共同生活や単身での生活が始められるように、事前の宿泊体験を行うほか、障害のある人を受け入れたグループホーム・ケアホームに対し運営費の助成を行う等により地域生活への移行を支援・促進を図る。

【担当課：保健福祉局障害福祉課 582-2424】

(3) 安心な暮らしのあるまち【公助】

保健・福祉サービスを適切に利用できる環境を整備するとともに、医療提供体制・健康危機管理体制など“いのち”を尊重した的確なセーフティネットを構築し、確実に機能させることで、誰もが生涯を通じて健やかに安心して暮らすことができる“安心な暮らしのあるまち”を目指す。

〔主な事業〕

北九州市保健福祉オンブズパーソン事業 11,024 千円

保健福祉サービスに関する市民からの苦情相談を受け、中立・公正な第三者の立場で調査・検討し解決を図る同事業を実施することにより、保健福祉サービス利用者の権利及び利益を保護し、サービスの一層の充実を図る。

【担当課：保健福祉局監査指導課 582-2448】

特別養護老人ホーム建設補助事業 344,000 千円

要介護高齢者が在宅生活が困難になった場合などにおいても、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することが出来るよう日常生活圏域ごとに地域のニーズや既存施設の配置状況を踏まえ、北九州市高齢者支援計画に基づき整備する。

【担当課：保健福祉局介護保険課 582-2771】

新 潜在的有資格者就労支援事業（地域支援事業） 4,182 千円

介護人材の不足に対応するため、介護福祉士やヘルパーなどの資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的有資格者を対象に、再就職を支援する研修を実施し、修了後は福祉人材バンクに登録して就職を支援する。

【担当課：保健福祉局介護保険課 582-2771】

新 介護保険推進全国サミット 22,500 千円

介護保険に関する諸問題や各地域における特色ある取り組み等について、多くの参加者間で検討・意見交換することにより、介護保険に関する理解を深め、また、今後のより良い制度の在り方について考える機会として開催する。

【担当課：保健福祉局介護保険課 582-2771】

新 ひきこもり地域支援センターの設置 8,000 千円

「ひきこもり地域支援センター」を設置し、ひきこもり問題の適切な対応のため、ひきこもり状態にある本人や家族からの相談等の支援を行う。

【担当課：保健福祉局障害福祉課 582-2424】

○**新** 自殺対策事業 1,000 千円

自殺など様々なこころの相談に対応する専用電話を開設するとともに、これらに関する相談が適切に行われるよう医療関係者への研修を開催する。また、身近な方を自死により亡くされた遺族への支援に取り組む。

【担当課：保健福祉局精神保健福祉センター 522-8729】

未熟児・新生児救急搬送用保育器更新事業 9,500 千円

出生と同時に緊急治療を要する未熟児・新生児を、受入当番病院に迅速かつ適切に搬送するために、市内 7 病院に常備している搬送用保育器を更新し、より安全な搬送体制を確保する。

【担当課：保健福祉局地域医療課 582-2678】

新 新型インフルエンザ対策事業 52,500 千円

鳥インフルエンザが変異し、ヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザ発生の危険性が高まっている。この新型インフルエンザによる市民の感染を最小限に抑えるとともにパンデミック（世界的大流行）による社会的な混乱を避けるため、医療体制や相談体制の整備、市民への啓発や情報提供などを行う。

【担当課：保健福祉局保健衛生課 582-2435】

新 石綿健康リスク調査 10,000 千円

一般環境の中で、石綿による健康被害があった可能性のある地域の周辺住民に対して、問診・胸部 X 線検査・胸部 CT 検査等を実施することにより、石綿関連疾患の有無と健康影響との関係について、国の委託に基づき調査を行う。

【担当課：保健福祉局保健衛生課 582-2435】